



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 世界文化遺産の活用による地域の活性化、県道移設による遺跡の景観向上。

指標	指標名	世界遺産関係イベント等の参加人数						指標の種類	
	指標式	参加人数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	最終年度
	目標a		0	200	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北	0	0	イベントにおける参加者のカウント					
全国	0	0							
把握する時期 当該年度中 11月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
	実績b	0	0	データ等の出典					
	東北	0	0						
全国	0	0							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 世界遺産に係る活用等の事業は、現状各団体がそれぞれに実施しており、連携により効果が高まることが想定される。県道移設事業は、ユネスコの勧告への対応として必要である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 アンケート結果から、世界遺産の活用や県道の移設を求める声が高く、ニーズに対応した事業と言える。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

活用については、県・市・民間の各レベルで展開しており、世界遺産登録を主導した県が連携を図ることが最も効果的である。県道移設は、県道管理者である県が実施する必要がある。

政策評価委員会意見 重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他